

# 日医標準レセプトソフト

(通称:ORCA / 略称:日レセ)

ホームページアドレス

<http://www.orca.med.or.jp/>

orca

検索

## 特徴1 お手軽

いつでも、最新の状態に保てます。

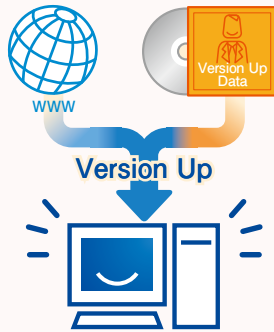
日医では常に薬などの最新マスタ、最新のプログラムを公開しています。

これらはネットワークを通じてお手軽に随時入手することができます。

改定時も法外なサポート金額を請求されることはありません(サポートメンテナンス契約の場合)。

自動算定も充実しています。

随所に自動算定・自動表示を取り入れていますから、入力もスムーズに行うことが可能です。

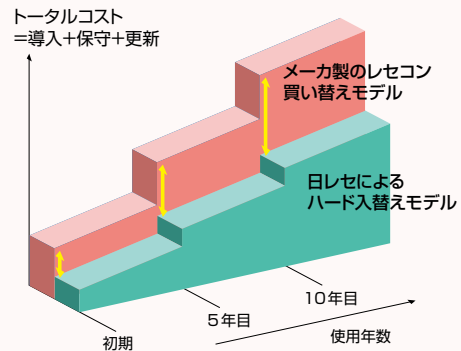


## 特徴2 経済的

導入も運用もコストの節約が見込めます。

日レセはソフトウェアの大部分を日医が開発し無償公開しています。

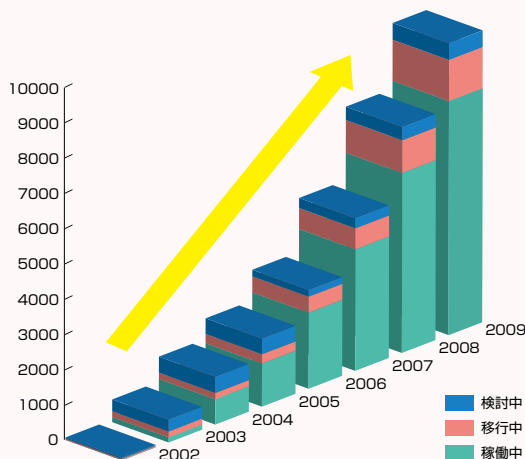
このため、導入時のみでなく、定期的にパソコン・プリンタ等のハード(機器)を入れ替えるだけで、長期間経済的な運用ができます。



## 特徴3 安心・信頼

既に10,000件超の医療機関で使われています。

2002年以来、先行使用いただいている医療機関から多くの要望を取入れ、実装してきました。これからも、さらなる使い勝手の向上に努めてまいります。(進化型)



レセ電(レセプト電算処理システム)を標準装備(本体組込み)しています。

日レセは、厚生労働省のレセ電マスタを採用していますので、点数マスタや項目名の間違いなく、レセ電が作成できます。

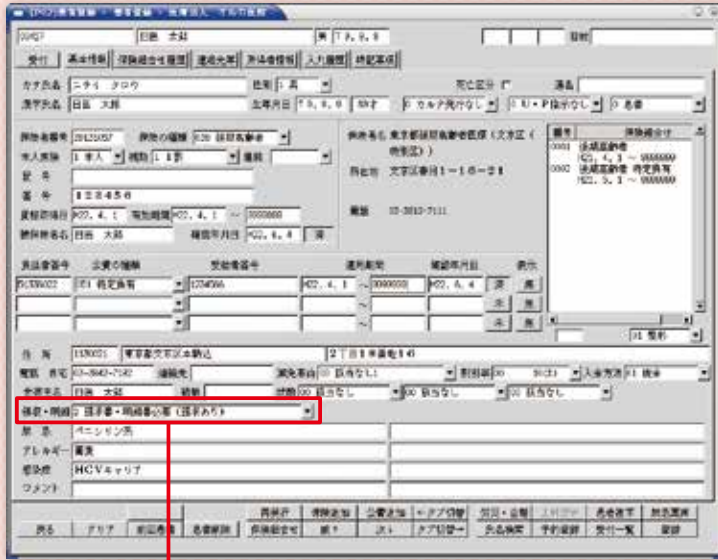


# レセプト請求に必要な機能を満載!

いくつものチェック表示機能により、入力を最小限にし、ミスの削減

## 患者登録

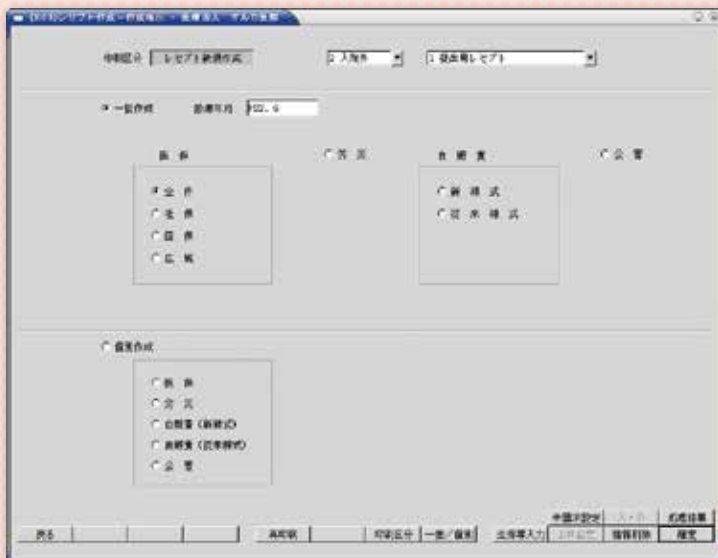
同姓同名、二重登録疑い、保険者番号エラーについてのチェック、禁忌薬剤・アレルギー等・保険者番号入力による保険者表示(保険者名・所在地・電話番号)・郵便番号入力による住所表示機能などにより、便利でスムーズな入力ができます。



患者ごとに請求書兼領収書、診療費明細書の発行有無を設定しておくことができます。

## 明細書

医保(社保・国保・広域連合)、労災、自賠責(労災・健保準拠)、公費(様式第二号:共通様式)毎にレセプトが作成できます。



## オンラインで、日レセ関連や医療

ネットワーク接続時には、新着情報が表示され、プロ更新情報、緊急安全性情報、日本医師会メールマガジ

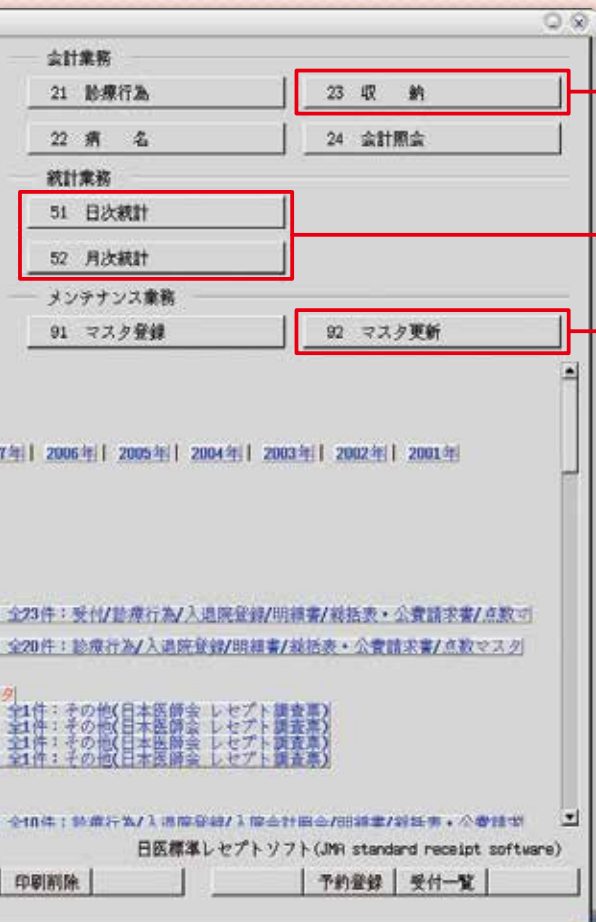
## 総括表・公費請求書

レセプト電算処理システム(レセ電)に対応、地域公費(都る医療費助成制度)プログラムを随時公開、請求書におい



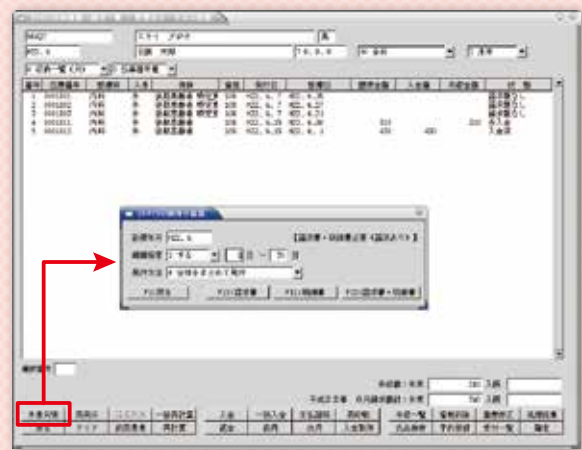


に繋がります。



**収納業務**

請求金額、入金額、未収金額を月単位で表示し、入金、返金、入金額の訂正や取り消し、処理日の変更ができます。  
また、請求書兼領収書・診療費明細書の発行や支払証明書の発行もできます。



**統計帳票**

標準帳票として、日次・月次統計帳票、診療録、処方せん、領収書、診療費明細書、薬剤情報提供書、お薬手帳などの帳票類を出力することができ、その他にも70種類を超える豊富な統計帳票を出力できる機能を備えています。



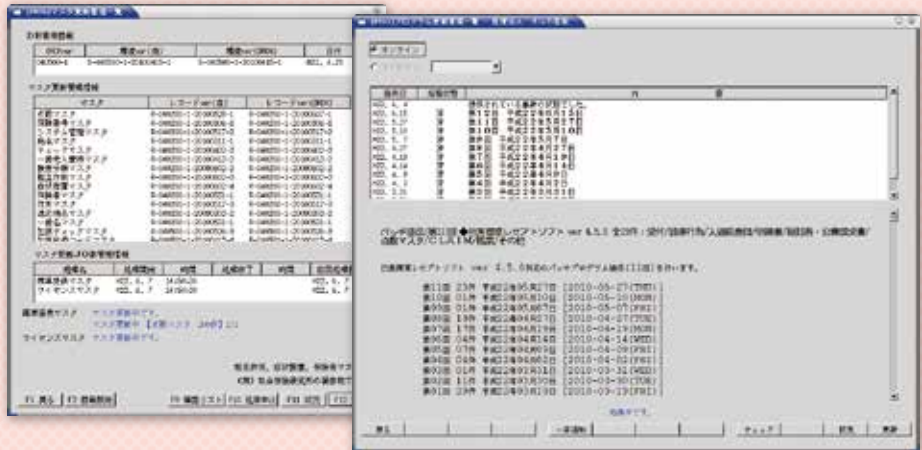
**情報がご覧頂けます。**

グラム提供（バージョンアップ等）のお知らせ、マスター（日医白くま通信）を閲覧することができます。

道府県単位で独自に実施している地域対応しています。

**プログラム・マスタ更新**

点数や薬価改定毎の更新作業は、ネットワークを通じて情報を入手、ボタン操作により、薬価の期限切れの置き換え等を自動的にマスターデータに反映できるため、常に最新の状態を維持しながら日レセを利用することができます。



正確な保険請求へ繋がる自動算定機能

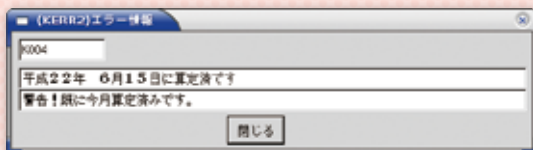
過去に入力された診療履歴、病名を参照し、診察料や管理料を自動算定します。



自動算定された項目については、「診療行為確認画面」にて○印で表示されます。

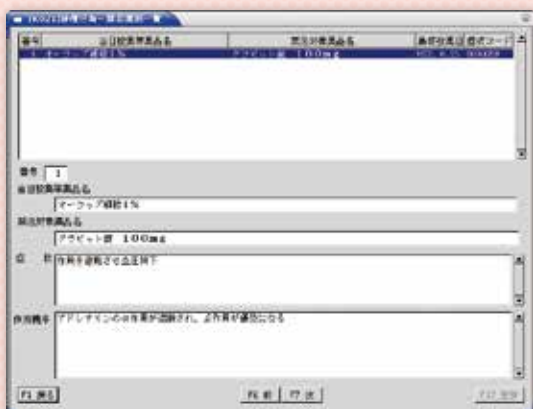
入力時のミスを事前に防止

主な併算定入力時に背反チェックが自動でかかります。また、独自の院内チェックルールについても初期設定を行うことで、警告・エラー表示を出すことができ、返戻の原因に繋がる算定ミスを未然に防止することができます。



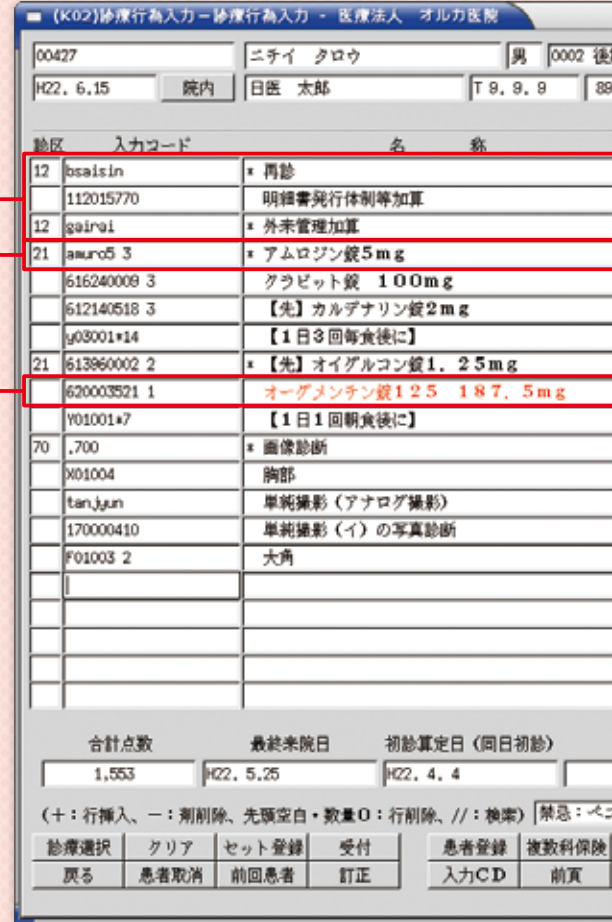
併用禁忌チェック機能

「医薬品併用禁忌データベース」と連動して、複数同時処方入力による治療効果の減弱や有害な作用を素早く検索・表示します。



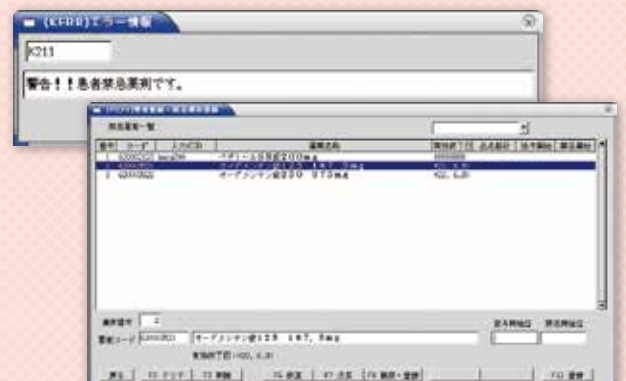
スムーズな診療内容の入力が可能な

広い表示領域画面に多くの情報を表示させながら、「短縮過去 (Do) からの入力」により、すばやく診療行為の入力ができ、書き・領収書・処方せん・薬剤情報提供書・お薬手帳の出力



患者毎に禁忌薬剤登録

患者毎に禁忌薬剤を登録できます。登録してある薬剤が診療行為入力された場合、警告メッセージを表示するとともに赤字で表示します。





## 「診療行為入力画面」

モード：入力CD・「約束処方や診療行為のセット入力」・「過

ぎます。また、ワンタッチで院内・院外処方の切り替えや頭

出力ができます。

数量	点数	回数	計
	70 X 1		70
	52 X 1		52
3	鏡		
3	鏡		
3	鏡		
	83 X 14		1162
2	鏡		
1	鏡		
	4 X 7		28
2			
2			
2	枚	241 X 1	241

## 機能性をもった「病名登録画面」

厚生労働省が提供している傷病名マスタを採用しています。

特定疾患療養管理料・皮膚科特定疾患指導管理料などの加算が発生する病名において、診療行為入力時に自動算定を行います。

## 中途運用による帳票出力

「中途終了」ボタンを使用することによって、ドクターサイドで処方を入力し、処方せんや薬剤情報提供書、お薬手帳の出力ができます。

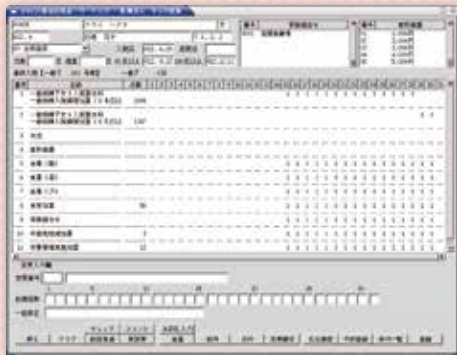
## 「会計照会画面」より、ワンタッチでレセプトをプレビュー

入力された診療行為データは、「会計照会画面」で一括修正・変更が可能です。

ワンタッチで、レセプトを印刷する前にプレビューでの確認ができます。また、労災・自賠責・公害においても印刷プレビューで確認が行えます。

**入退院登録**

登録画面から、入退院登録や転科・転棟・転室、入院料の変更等を行うことができます。



**入院会計照会**

入院基本料、入院基本料加算、外泊、食事(朝・昼・夕)等をカレンダー形式で表示し、外泊や食事等の変更を行うことができます。



**入院診療行為**

短縮コード入力(入力CD)・診療行為のセット入力・過去入力(Do)等を利用して、入院会計を入力することができます。また、同一月内であれば、まとめて入力することができます。

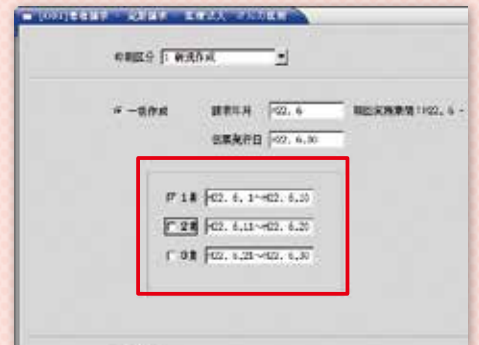


**処方箋・指示箋**

入院診療行為画面の「中途終了」ボタンまたは、診療行為確認画面の「登録・発行」ボタンより、処方箋・指示箋の出力を行うことができます。

**退院時仮計算**

退院時に請求する金額の仮計算を行うことができます。



**定期請求**

入院患者に対する「入院診療費請求書兼領収書」については、月1回～3回と、指定した条件により出力を行うことができます。



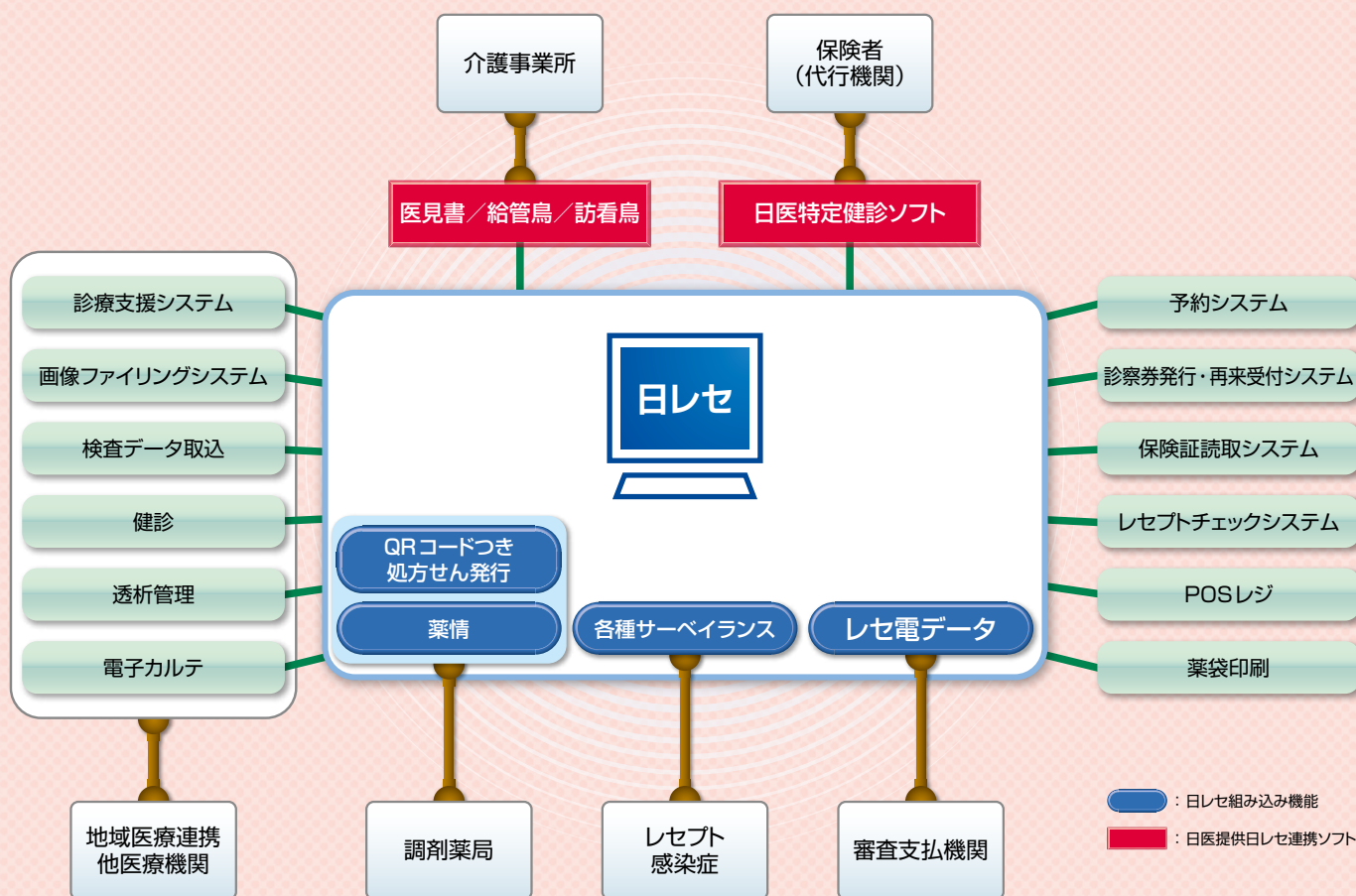
**退院証明書**

退院証明書の出力もできます。



拡張  
連携

目指しているのは、  
レセコン+ネットワーク端末+データベースとしての機能です。  
(日レセは様々なソフト・機能と連携しています)



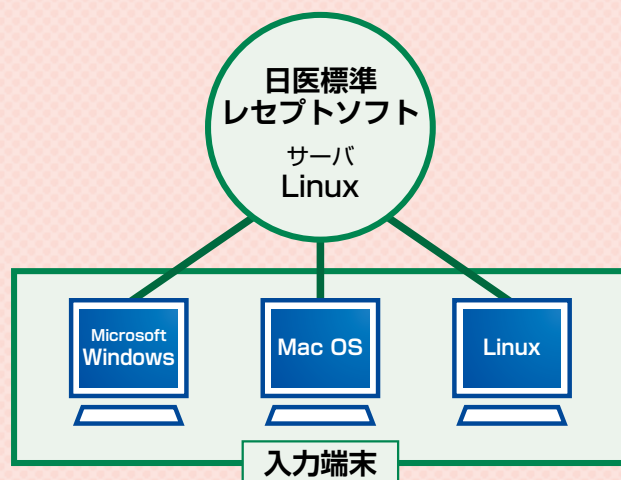
### つながる日レセ選べる電子カルテ

- 20社を超えるメーカーが日レセと連動する電子カルテを市販しています。
- 各社の電子カルテには、それぞれ得意分野があったり、特徴的なポイントがあります。日レセならば、診療スタイルやニーズに合わせてくらべて選ぶことが可能です。



### 入力端末としてはWindowsでもMac OSでも運用OK

- サーバ機はLinux OSで動かす必要がありますが、2台目からの入力端末として、使い慣れたパソコンもご利用いただけます。



\* Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または、商標です。  
\* Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。  
\* MacintoshおよびMac OSは、Apple社の米国およびその他の国における登録商標です。

## 標準機能一覧

- レセプト電算処理システム
  - 受付機能・予約機能
  - 未収金管理を含む収納管理
  - レセプト請求管理
  - QRコード付処方箋発行
  - 診療費請求書兼領収書・診療費明細書発行
  - 統計帳票
  - 各種データチェック
  - 照会（検索）機能
  - 検索結果のCSV出力
  - 印刷プレビュー機能
  - 労災・自賠責レセプト作成
  - 公害レセプト作成
  - 公務災害レセプト作成
  - 治験レセプト作成
  - 地域公費（都道府県単位）
  - 国保請求書総括表（都道府県単位）
- ※ ■ レセ電ビューワ（別途無料にて用意あり）

### 定点調査研究事業の実施

日本医師会では、日レセを利用して定点医療機関からレセプトデータを継続的に収集・分析する調査研究事業を行っています。

この事業は、日レセに保存された情報のうち、レセプト情報から患者個人が特定できる部分を削除したデータや医療機関のプロフィール（施設基準）を、暗号化された電送経路で日本医師会へ送信・集積されるもので、その結果詳細な医療費動向や受療動向等の定期的な解析と公開を行えるようにする研究です。

参加は、任意の申し込みによりますので、是非、日レセを導入いただき、参加をお願い致します。

### 導入相談窓口

導入に関する相談窓口を日医総研内に設けております。

#### ■電話番号

**0120-544-170**（フリーダイヤル）

#### ■受付時間

月～金（午前10時～12時・午後1時～5時）  
土・日および祝祭日・年末年始はお休みです。

#### ■Fax

**03-3946-2138**

#### ■E-mail

**assist@orca.med.or.jp**

### 日医IT認定制度



日本医師会の公開したプログラムは、万人が自由に利用、改良が行えます。ORCAプロジェクトでは、医療機関が日医IT（日レセ等）を導入・活用する際、安心して

サポートが任せられる事業所の育成に力をいれています。制度として、日医ITの操作指導・医療指導を行う「インストラクタ」と、システム構築・メンテナンスを行う「システム主任者」、この2者が常時在籍し、医療機関へ日医ITの導入をお手伝いする「サポート事業所」を認定しています。（2010年6月現在178事業所）本制度で認定された専門技術者ならびに事業所については、プログラムの開発元でもある日本医師会総合政策研究機構（日医総研）が公式にバックアップし、サポートしています。認定事業所はホームページでお調べいただけます。

ORCAのトップページから  をクリックしてください。

<http://search.orca.med.or.jp/support/>

この他、携帯端末からも検索できます。

<http://search.orca.med.or.jp/support/m/>



### 保守契約のお願い

日医標準レセプトソフトは、改定対応やソフトウェアの更新等を前提にした高度なコンピュータソフトウェアです。

常に最良の状態で、セキュリティを確保して安全にご利用いただくために専門家による保守サービスを推奨いたします。

お近くの日医IT認定サポート事業所にご相談ください。



日本医師会総合政策研究機構

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
日医会館内

ホームページアドレス

<http://www.orca.med.or.jp>